

して、若い人たちに糸魚川の魅力を伝え、足を運んでもらう。それが今、行政が最優先でやるべきことの1つだと思います。その仕組みについては、次回も質問し提言したいと思います。終わります。

議長（倉又 稔君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。〔7番 田中立一君登壇〕

7番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一です。

発言通告に基づいて1回目の質問をさせていただきます。

1、北陸新幹線えちごトキめき鉄道及び路線バスについて。

(1) 北陸新幹線沿線の騒音・振動について。

試験走行から1年、開業から9か月が経過しようとしております。既に解消されていなければならない課題と思いますが、これまでの経緯と現状、鉄道・運輸機構の対応と今後の市の対策について伺います。

(2) 北陸新幹線糸魚川駅開業2年目に向けての利用促進策について伺います。

(3) えちごトキめき鉄道について。

発表された上半期の経営状況と現在の課題について、市の考えを伺います。

10月に行われたトンネル内での避難訓練について、その内容と市のかかわりについて伺います。

(4) バスの利用促進について。

過疎化・高齢化地域の路線維持対策として期待される、路線バスで宅配便を輸送する「客貨混載バス」の導入はいかがでしょうか。

JR東日本及びJR西日本は北陸新幹線にスキー・スノーボードを置くスペースを設置するそうですが、その内容と市内スキー場への2次交通としてのバスの対応はいかがでしょうか。

県では団体貸切バス値上がりによる観光客減少対策として緊急支援を打ち出しましたが、市内での反応及び市の独自策の考えはいかがでしょうか。

列車との接続時間について利便性はいかがでしょうか。

2、農業政策について。

(1) TPP（環太平洋連携協定）の大筋合意について、地域農業への影響を市はどのように捉えているか伺います。

関税撤廃の例外とされた農業重要5項目の約3割が撤廃の対象となったことについて。約8万トンの米の輸入枠について。

政府・与党が示した耕作放棄地の固定資産税を現行の1.8倍に強化することについて。

(2) 糸魚川市の農業の現状について伺います。

ことしの米の作柄と台風15号による影響と対応について。

就農人口の動向について。

広域協定組織の現況と今後の取り組みについて。

農協法改正による農業委員会について。

以上、1回目の質問です。よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

田中議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、本年5月から2次測定を実施いたしており、調査が終了した地区から、順次、騒音・振動の結果が通知されております。

今後、鉄道・運輸機構では、音源対策と住宅の防音工事を実施し、市といたしましては、住民と機構との調整を進め、早期解決に向けて取り組んでまいります。

2点目につきましては、北アルプス日本海広域観光連携会議で、ワーキングチームを設立し、JR西日本と協力をしながら、利用促進に努めてまいります。

3点目の1つ目につきましては、旅客収入実績では計画額を上回っておりますが、減価償却費が大きいことから営業利益が赤字となっております。

2つ目につきましては、10月22日にえちごトキめき鉄道が、頸城トンネルでの列車火災を想定した訓練を実施し、重傷者を搬送する役割で参画いたしました。

4点目の1つ目につきましては、一部の路線で実施いたしております。

2つ目につきましては、スキー・スノーボードなどの大きな荷物に対応できる貨物置場を設置するものであります。また、シャルマン火打スキー場では、今シーズン、JRとタイアップしたシャトルバスの運行を計画いたしております。

3つ目につきましては、現時点で市内に対象となる施設はありませんが、今後の動向を注視してまいります。

4つ目につきましては、通勤・通学や通院を主とした交通手段としており、列車との接続が課題であります。

2番目の1点目の1つ目につきましては、無関税枠や関税の大幅引き下げなど、今後に不安を残す内容と受けとめております。当市では、中山間地域が多く、規模拡大や経営の効率化が容易でないことから、今後、政府が打ち出すTPP対策を注視する必要があると考えております。

2つ目につきましては、具体的な制度運営について、まだ明確ではありませんので、今後の動向を注視してまいります。

3つ目につきましては、国の検討結果を注視してまいります。

2点目の1つ目につきましては、上越地域の作況指数は102の「やや良」で、コシヒカリの1等米比率は10月末現在で72.5%と、県全体より低い結果となっております。

原因といたしましては、台風15号が大きく影響したものと考えており、今後、関係機関と対策を協議してまいります。

2つ目につきましては、農林業センサスの平成17年の農業就業人口は2,464人、平成22年では2,000人と5年間で約19%の減少をいたしております。

3つ目につきましては、多面的機能支払については2協定、中山間地域等直接支払については15協定、環境保全型農業直接支払については1団体であり、今後、これらの各協定を1つにまとめることにより、中山間地域の農業の推進役を担うことを期待いたしております。

4つ目につきましては、農業委員会の役割も、農地法の許認可に限らず、農地の適正利用により農業振興に資するよう求められ、今回の制度改革につながったものと認識いたしております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もごさいますので、よろしくお願ひ申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

新幹線の騒音問題であります。5月から測定をされて、ようやく結果が出たところから交渉に入っているというお話だったように思いますけれども、ようやくという印象があります。このスピード感については、どのように捉えておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

お答えいたします。

スピード感については、やはり遅いというふう感じておるところでございまして、その辺のところにつきましても機構側に対して、早くやってくれということで要望いたしておるところでございまして。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

本当にそのとおりですね。

やはり毎日、日々の暮らしの中で困っている住民にとって、一刻も早く解決してもらいたいという気持ちは強いわけでありまして。その中でスピード感がないと、やはりそういった住民の気持ちを無視している、あるいは軽視しているというふうにもとられかねないというところで、非常に早くこれを解決してもらうためにも、また、市のほうからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

市のほうに対しては、何度もこの間、現場のほうに足を運ばれたり、また、機構のほうにも行かれたというお話も聞いてはおるんですけれども、住民の話を聞かれた方々からは評価の声も聞かれていますけれども、およそこれまでに何回ほど足を運ばれて、何人ぐらいの方からそういう情報を得られたのか把握されていたら、お願ひしたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

回数的には、しっかりと覚えておりませんが、その都度、現場のほうへ赴いて、住民の方から、例えば何か要望があった場合には、現地を確認する中で、また、機構のほうへ要望いたしておりますし、機構のほうへは6月から計6回ぐらい行って、要望いたしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

まず、住民の皆さんの意見等なんですけれども、非常に幾つかの集落にまたがっているので、いろいろ個々によって内容も違ってくるといことがあります。その方たちに、恐らく皆さん市の方たちも忙しい中で、全部、説明したりだとかは、なかなかお会いしたりとか難しいんじゃないかと。やはり、説明会だとか、あるいは意見交換をする場とかそういったものが必要なんじゃないかなと思います。5月以降、説明会・意見交換はされたか、また、今後される予定があるか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

機構と、それから地区住民の方との説明会等については、市も参加していろいろ意見を聞いたりしております。ただ、機構を除いて、例えば市と住民だけの説明会だとか集まりというのは、今までは行ってはおりません。その必要が、やっぱり出てくれば、それはやはり行っていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

その必要が今、生じてきてるんじゃないかなと。また、その辺の情報もあわせて必要ならということなんですけれども、やっていただけたらと思います。

各機関や各団体等との連携状況はいかがなかなと。まず、先ほど6月から6回、機構のほうに行かれたという答弁をいただきましたけれども、これは全部、長野事務所のほうに行かれたということでしょうか、それとも東京とか、あるいはほかの機構とかそういったところへも行かれたということでしょうか。鉄道・運輸機構との連携状況はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

今回の騒音対策については、富山のほうと長野のほうと2つの機構・事務所で分かれております。そんなことから、両方あわせて6回行ったということでございます。

連携については、やはり区なり、それから住民の方からいろいろご意見をいただいたその都度、機構のほうへ要望をいたしておりますし、また、機構のほうからもいろんな情報についてはいただいております。それをまた、地元の方へも返しておるということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

6回、各富山・長野のほうに行かれて、それでこのスピード感という、遅いという印象を受ける、機構のほうの反応というのはいかがなんでしょうか。

それと、行かれて住民のほうに説明といいますか、その説明は個々にされているんでしょうか、それとも何らかの形をとって説明をされているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

機構の対応等については、やはり私ら自身、遅いという感じを持っております。それで、要望をいたしておるということでございますし、個人の方から要望をいただいたものについては、個人の方にまたフィードバックしておるということでございますし、区長さんを通じた場合は区長さんのほうへ、またその旨をお伝えしておるということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

次にじゃあ、関係住民及び関係地区の区長さんとの連携、あるいは情報共有は、どのようにされておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

定期的な会合等は持っておりませんが、問題とかそういう意見が出た折、連絡をとるようにいたしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

柱道、鶉石、下小見、上小見等、能生地域においてはあるわけですがけれども、いずれの区長さん、

あるいは区の方と、そういう情報を持っておられるというふうに考えてよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

特に柱道に関しては、区長さんと連絡等はとり合っておりますけども、鶉石の方は2件だったもので、そこについては、市が個人に対応しておるといふことでございますし、下小見等については、一応、説明会等でお伺いして、その後、あまり意見等はいただいておりますので、その辺のところも確認はいたしていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

よろしくをお願いします。

2次測定の結果が出されているということなんですけども、市のほうでは測定のほうの結果を全部、把握されておられるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

測定結果については、機構のほうは非公式ということになっております。

ただ、例えば対象家屋が大体、能生地域全体で60件程度というふうにお聞きしておりますし、大体、基準値を超えるのは半数近くじゃないかなというような感じは持っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

じゃあ、市のほうで捉えておられる測定の最大値等の数値は、どれぐらいのものなのか、それから、騒音の測定値の出し方なんですけれども、私も見てやったところでは、1日に数十本、列車が通るのを全部わかってるわけなんですけども、その測定されてる中の一番最大なものをとるのか、それとも何かほかの方法でとるのか、測定値の方法はどのようにされているのか、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

一番大きいと思われるお宅の測定値について、機構ではなくて個人の方からお聞きした段階では、85デシベルだということでお聞きしております。20本の対象のあれをとって、一番、その1本ごとの一番大きい数字をとって判断するというふうにお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

基準値は確か70と。その中で85、非常に大きい印象を受けます。どれぐらいになるか、恐らく聞いても、受け方や何か難しいところがあるのかもしれませんが、非常にやはり、日常の中で困っておられるなというところであります。

2次測定は全部、調査は終わったということでしょうか、それともまだ、これから来るような話、測定に来られてるという話も聞くんですけども、もし、まだこれからあるなら、一体いつごろ終わる予定なのか、その現状はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

能生地域については、2次測定については全部、終わってるということでございます。

今回、新たに測定に入るということでお聞きしておるんですが、それについてはトンネルの緩衝口を塞ぐという工事において、緩衝口を塞ぐ前と塞いだ後について、音源がどうかということで調査に入るということでお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今、騒音調査は機構側のほうの調査を聞いているわけなんですけれども、そのほかに国、あるいは県のほうで騒音調査に入られたという話も聞くんですが、その辺はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

環境省のほうで国の環境基準の、新幹線ができた後の環境基準について、測定に入っておるということでお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

その環境省のほうの測定のいかんによって、また機構への働きかけというのはあるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

やはり、環境省の基準でオーバーした場合については、基準値になるように、要は音源対策について行うということになるかと思います。ただ、その時期だとかそういうものについては明記してないので、例えば新幹線ができたときには、「可及的速やかに」というような表現はなされています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

補償の話も今、進んでいるというふうに伺っているんですけども、住んでいない、例えば柱道においたら集会施設等があったわけですね、真下に。そういうところの測定をされているのかどうか、そういったものは、補償の対象になっているのかどうか、その辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

測定については、柱道なら柱道の全体の、まず1次測定をやって、対象のところは2次測定という形になっておるんですけども、例えば今の集会所みたいな施設については、公共的なものについては病院だとか学校だとかというのは、常時、人がいなくても対象になりますけども、基本的には常時、人が住んでいる居宅が対象だということでありまして、集会施設は、機構の言う基準では対象外だということで、お話はお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

5月の説明会のとき、やはり、その集会所でやってる最中に新幹線が通って、その間、話を中断しなければいけなかったというような話も聞いております。やはりこういったものも、対象にするように話しかけるべきじゃないかなと思うんですけども、その辺の捉え方というのはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

確かに、集会をやっておっても、通れば話ができないぐらいの大きさでありました。ですから、対象外というのはいかがなものかなという感じはしておりますし、その旨、機構にも要望はさせてもらっておりますが、なかなか基準ということで、ちょっと厳しいものがありますけども、その辺は実情をやはり、今後も伝えていきたいというように思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それで先ほどから、恒久対策工事をするための測定が、これから始まるということで、穴を塞ぐ等、話が今ございましたけれども、9月議会だったかと思うんですけども、このような恒久対策工事をした場合、また別な問題が出てくる可能性があるということ、答弁の中にあっただけですけども、別な問題というのはどういうことが考えられるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。（定住促進課長 渡辺 勇君登壇）

定住促進課長（渡辺 勇君）

今、音源対策としてトンネルのほうの工事を行うということで、今、最初にやるのは、緩衝口を塞ぐという工事であります。緩衝口を塞いだ場合に、例えば能生地区では、そこでよくなるかもしれないけども、今度はほかの地区へ行って、その塞いだことによって、ほかの地区に影響があるかないかという意味で、そういう形でお答えさせていただきました。

今後、緩衝口を塞ぐ、それから吸音板だとか、明かり部分については吸音板等の設置を行います。そのほかにも、どうすればいいのかというものも、まだ検討中だということでお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

この騒音について、JRとの連携等、対応等の話し合いというのは、いかがだったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。（定住促進課長 渡辺 勇君登壇）

定住促進課長（渡辺 勇君）

施設そのものは機構の施設なんですけども、実際、JRが使っておるわけです。緩衝口の工事も、JR西が行うということで、機構とJRと締結を結んでおるということでございます。そんなものですから、締結後は速やかに工事を行っていただきたいということで、機構にもお話をしておりますし、JRにもその旨をお話をしてるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今、地方創生の総合戦略版等を作成したりして、人口減少対策が叫ばれているときなんですけれども、住んでいる住民からは、こういったところからは、住んでいられないというお話も聞いたりもします。また、都会から移住された方が、ここは静かなところと思って来たんですけども、こん

なはずじゃなかったという声も聞きます。そういった声もありますので、引き続き住民の立場に立って、いろいろと対応のほうをお願いしたいと思います。

また、機構側から提示されている補償等についても、知識を持たないから、なかなかどうやったらいいかかわからないという声もあります。いろんな声がありますので、何度も言いますが、住民の立場に立って、対応していただくことを要望させていただきます。

2番目の、2年目に向けての利用促進策なんですけれども、改めて7月の4日間で、1日平均1,006人という数字が、市の独自調査の中で示されましたけれども、当初、想定して準備を進めていました2,700人との開き、改めてこのことを、どのように捉えておられるかをお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

利用促進については、1日1,000人程度ということなんですが、やはり今回、新設された駅の中で、一番利用人数については低いという形になっておりますので、やはり今後も利用促進を図って、利用客をふやしていく必要があるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

やはりこういった独自調査というものは、いろんな基礎調査の中で必要だと。今後も続けていきたい旨のお話もいただきましたけれども、これまでの間に、2回目の独自調査等をされましたでしょうか。それとも、今後、行う予定があるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

11月に自由通路の利用調査にあわせまして、一応、新幹線の利用調査も行っております。ただ、まだ数字については調査といいますか、調整中といいますか、調べている最中で、数字等ははまだお伺いはしておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

伺っていないというのは、これはどこが主になってされたところなのか、それと、いつごろそれがわかるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

失礼しました。建設課で行っておりまして、そういう意味でちょっと、伺ってないというような表現をしてしまいました。申しわけありませんでした。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

申橋建設課長。〔建設課長 申橋秀樹君登壇〕

建設課長（申橋秀樹君）

失礼しました。

建設課のほうで、11月末に調査をいたしまして、今、集計中でありまして、結果はまだ出ておりませんが、もうしばらくの間で出したいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それは、どういう目的でされたのか、それからいつ、何日間されたのか、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

申橋建設課長。〔建設課長 申橋秀樹君登壇〕

建設課長（申橋秀樹君）

期間については1日でございます。調査の内容ですけれども、自由通路を北口から南口のほうへ向かっていく人数、南口から北口のほうへ向かっていく人数。それから、新幹線の金沢のほうからとか東京のほうからとか、方面別に乗降客の調査をしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

1日の調査でどれだけの、大体いつかということもまだ、伺ってないんですけれども、どういうこれは目的のためになっていくのか。また、7月に行った4日間の調査との整合性といいたまいますか突き合わせは、今後されていくのかどうかはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

7月に行ったような独自調査については、今後とも行っていきたいというように思っておりますし、3月に今のところ予定しておりまして、1周年、1年たってどうかということも、見きわめていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

やはり3月のことを考えているなら、今、やはり夏にやったのと同じ内容で調査をすべきかなと思います。やはりそういったものが、だんだんいろんな面での基礎資料となっていて、それが今度、利用促進につながっていくと。また、そうしなければ、利用促進の対策も打てないんじゃないか、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

定住促進課が7月に調査をいたしましたのは、今ほど課長説明しましたように、新幹線の利用状況を独自に調査するというので実施をいたしました。

それから、建設課長のほうで答弁申し上げましたのは、自由通路の利用状況というのを主目的に調査をしたものであります。ただ、あわせて新幹線の改札口、あるいは在来線の改札口のほうからの乗降客の数も、あわせてカウントしたと。そういうデータも当然、新幹線利用者の推移の中で利用してまいりたいと思っております。

その後3月に、また新幹線の乗降客の調査をいたします。そういう時系列の中で推移を比較する、状況も分析いたしまして、今後の利用促進に役立てていきたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

3月に、また調査をするということなんですね。

ダイヤの発表というのは、去年は確か今ごろだったかなと思うんですけども、その辺の情報は把握されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

ダイヤの発表については、12月中旬だというふうにはお聞きしておりますが、いつだということについては、まだ正式にはお伺いしておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

利用がやはり、ダイヤにも大きな意味があって、持ってくるんじゃないかと思えます。

少し具体的なことを伺いますけれども、まず駐車場についてであります、4日間の無料は非常に好評ですね。本当にうれしいという声が聞かれます。

一方、広域観光のほうでの周知はどれくらいか。一生懸命されているようなんですけども、まだまだ浸透していないんじゃないかなという印象がありますけれども、その辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

ご指摘のように、北アルプス日本海広域観光連携会議でも、駐車場の利用促進に向けた周知を行っているところですが、まだまだ不十分な点があります。そのため、先日も会議を開きましたけども、利用促進に向けて周知を図るようお願いをしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

建設課長（串橋秀樹君）

先ほど私のほうで、南北自由通路の交通量の調査日を1日と言いましたけども、11月11日と11月15日、平日と休日の2回やっておりますので、訂正させていただきます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ちょっと戻りたいところですが、時間がないので駐車場のほうを続けます。

なかなか駐車場の評判が、4日間の無料はよくて、利用したいと思って行ったときに、今までそんなことはないんですけども、あいてるかどうかが行くまでわからないということで、どちらの駐車場を利用すべきかというのを悩む話も聞きます。事前にどこかで、駐車場の空き情報というのを示せる方法はないかということなんです、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

建設課長（串橋秀樹君）

駐車場の空き情報ですね、南口広場のパークアンドライドのほうには出ておるんですけども、ヒスイ王国館のほうや何かには、実際、行ってみないとあきわからないという状況になってきます。

議長（倉又 稔君）

暫時休憩します。

午前11時59分 休憩

午前 11 時 59 分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を開きます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

今、駐車場のほうですけども、昨年に比べまして 60% 以上もオーバーしてるという状況にあります。インターネット等で空き情報を出せばいいんですけども、その辺につきましては、南口といいますがアルプス口のほうと、それからヒスイ王国館のほうと一緒に、ちょっと検討させてもらいたいと思っています。

議長（倉又 稔君）

田中議員の一般質問の途中ではありますが、昼食時限のため暫時休憩をいたします。

再開を午後 1 時といたします。

午後 0 時 00 分 休憩

+

午後 1 時 00 分 開議

+

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を開きます。

午前中に引き続き、田中議員の一般質問を行います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7 番（田中立一君）

駐車場ですけども、先ほどの答弁の中で、現在 6 割の稼働率という説明をいただきました。イベント等では、満車になることもあるんじゃないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

稼働率が 6 割ということではなくて、昨年との対比で 6 割の駐車台数がふえたということであります。ただ、ヒスイ王国館のほうは屋上もあります。ですから、よっぽどのとき以外は満車にはならんかなということ考えてございますけども、ただ、イベント等のことはありますので、そうし

た場合、満車になったときどういうふうにするか、その辺をどういうふうに周知をするかということで、検討させてもらいたいというものであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

行ってみたら満車だったとか、あるいは入れるところを探すために、時間を食って新幹線におくれたということがないように、対応のほうをよろしくお願いしたいと思います。

1階のジオパルですけれども、2年目に向けて、ことしは大変、プラレールやジオラマ等、好評だったわけですけれども、リピーター確保策等、新鮮さを保つ、何か対策等は考えておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

ジオパル、今のところは好調を維持しておりますけれども、だんだん施設が陳腐化してくるといった課題もあろうかと思えます。そうした中で、新年から、1月からイベント等の開催、あるいはジオラマにつきましても、鉄道ファンを中心としたPRに努めてイベント等を開催する中で、誘客に努めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

特に、イベント等は考えていくに当たって、施設そのものについてのそういう対策というのは、何かあったらお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

まだ、オープンして間もないことでもありますので、ハード整備等については現段階では考えておりませんが、ソフトを充実する中で、費用対効果も考えながら誘客に努めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

よろしく申し上げます。

2次交通ですけれども、ことし、いろいろとイベント、あるいは事業をされる中で、2次交通いろいろとありましたが、その中でレンタサイクルを取り上げてみたいんですけれども、非常にこれから伸びる可能性があるんじゃないかなと思います。サイクル人口というのは非常に多いので、まだこれから呼び込む工夫というのが必要かなと思います。サイクルステーションの設備、あるいは設置ということは考えておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

現在、糸魚川駅を中心に、2カ所でサイクルステーションを設けておりますが、今、マリンドリーム能生等で、新たなサイクルステーションの設置ができないかということで、施設管理者と協議を進めておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

そのサイクルステーション、マリンドリームにあればいいなと、この後、言おうと思ったんですけれども、ぜひ、設置したらいいなと思いますし、その中身が問題じゃないかなと。

今、駅周辺に2カ所あるといいますけれども、恐らく受け付けをして、あるいはそれを出ていくに当たってのいろんな注意事項等される程度かなと思うんですけれども、他のいろんな先進地でのサイクルステーションという考え方と、少しまだ、おくらしているような気がします。サイクルステーションはいろんな機能を兼ね備えたところもたくさんあります。そういった面で、本来の意味のサイクルステーションをやっていったらどうかということについては、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

サイクリングステーションにつきましては、現在、今のところ簡単な変速機付きの自転車ということでもありますけども、欧米人はより高度な形のサイクリングを楽しまれるという部分もありますんで、その辺につきましても、今、北口のほうではやっておりますが、どう取り扱っていくか検討していきたいと思っておりますし、現在、北アルプス日本海広域観光連携の会議の中で、白馬村、あるいは小谷村、大町市と連携して、サイクリングの取り組みを、今、検討しております。その中で、先進地の事例も参考にしながら、より利用しやすい、また楽しんでいただけるようなサイクリングステーションにしていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

似たようなものなんですけれども、いろんな先進地の例を見ますと、観光施設の今言ったマリンドリームもそうなんですけれども、いろんな商業施設、あるいはコンビニ等にサイクルピットを、自転車を置くスタンドを設けるとか、サイクリングする人が寄りやすいような設備を支援する動きはあります。そういうことをやることによって、また、そのお店やら地域も活性化することもあると思うんですけれども、そういう考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

インバウンドを進めていく上でも、ご指摘のようなサイクリングをどう生かしていくかというのが課題になっております。こういった点につきましても、今、ご提案のお話も含めながら、どう進めていけばいいか検討を加えて、いずれにしましても、今よりバージョンアップできるような形で、取り組んでまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

1回目の市長答弁で、ワーキングチームをつくって、JR西と協力していく云々の答弁がございましたけれども、このワーキングチームの中身と、具体的な何かがあったらお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

ワーキングチームの名称ではありますが、現段階では仮称ではありますが、「北陸新幹線系魚川駅利用促進に向けた戦略会議」という名前で設置をしたいと。設置につきましては、現在12月24日に設立をしたいと考えております。参加機関ではありますが、JR西日本金沢支社と新潟県、さらに長野県、そして北アルプス日本海広域観光連携会議の構成自治体で、今、構成を考えております。

開業してから半年以上がたつ中で、現状、あるいは課題というのが浮き彫りになってきました。これを踏まえる中で、今後、どうやって系魚川駅の利用促進をやっていくかということ、連携しながら考えていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番(田中立一君)

非常に期待したいと思いますが、これの事務局等は、どちらが持ってやるか決まっていたらお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長(渡辺成剛君)

お答えします。

この会議につきましては、私ども糸魚川市が呼びかけ人として、始めようと考えております。

こうしたことから、糸魚川市が事務局としてこの会議を運営したいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

田中議員。

7番(田中立一君)

よろしくお願いします。

開業時は、世間も注目しておりましたし、マスコミも多く取り上げました。2年目ということは、本当に正念場になってくるんじゃないかなと思います。来年は、北海道の新幹線も開業して、そちらの注目も高まっているとこですんで、ぜひ2年目、飛躍できるような取り組み、隣の上越市のほうでは、大河ドラマの上田市と連携しての話も聞いたりもします。ぜひ、こういったワーキングチームの働きを、期待してみたいと思います。

何か、具体的なイベントを、このワーキングチームに限らないんですけども、利用促進に向けてのこれからのイベント等あれば、お願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長(渡辺成剛君)

お答えします。

初年度は、イベントを中心に誘客に努めてまいりましたが、次年度以降、来年度以降につきましては、旅行商品を造成する形で、具体的に旅行会社と連携する中で進めていきたいと思っております。現段階、JR西日本の営業本部、大阪の本社と新たな旅行商品がつかれないかどうか、今、具体的な協議に入っております。4月以降、新たな旅行商品を造成すべく、今、取り組みを進めているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

田中議員。

7番(田中立一君)

えちごトキめき鉄道でありますけれども、上半期の経営状況等、先ほど伺いましたけれども、改

めて糸魚川市の出資額、それから開業後に支援する内容、固定資産のこととか交付税とか伺ってきているわけなんですけれども、具体的に教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

お答えします。

出資額については、2億2,040万円でございます。それから、市の支援といたしましては固定資産税相当分を補助するということと、その補助に対して交付税参入額が30%あるということで、その30%分についても補助を行うということで、並行在来線への投資・支援スキームに関する覚書ということで調印がなされています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それは伺った上で、先日、リゾート列車の「雪月花」が、4月23日から運行開始の報道がされました。待ちかねた発表というところでありまして、この列車に、えちごトキめき鉄道の経営改善の切り札として、我々も期待しているところであります。我々も何度もこの情報について求めたけど、今までなかなか教えていただけなかったんですけど、ようやく具体化したなと思うところなんですけれども、先ほどの市長答弁の中で、このえちごトキめき鉄道の経営状況において、減価償却が大きくて、まだ赤字の原因となっていると云々の話があったかと思うんですけども、このリゾート列車の建設費、あるいは収支というのはどんなような形になっているのか、把握されていたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

リゾート列車そのものに対する出資だとかそういうものは、市としては行っておりません。それについては、経営計画の中で、一応、定められておるものでございまして、市としては、その分に対する別の出資というものはありません。これについては、やはり経営収支の改善につながればいいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

建設費もわからないということでしょうか。

それから、この列車を新造するに当たって、デザインはもう発表されましたけども、中身的なデザインとか、あるいはコンセプト、運行形態、それから今回、料理や運賃も検討中ということで、

それも発表されましたけれども、これらについて市のほうの要望だとか、あるいは考えというものは伝えたりされていたんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

デザインだとかそういうものについては公募されて、選定委員会の中で決められたというふうでございまして、直接、市がデザインに関して意見を申し述べたということはありません。

リゾート列車に対する運行だとか、料理だとかそういうものについては、まだ公表されてはおりませんが、市としてどうすればいいかとかというようなものについても、意見そのもの、具体的な意見等は申し上げておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

リゾート列車につきましては、今、糸魚川駅と、それから上越妙高のほうを走るわけでございまして、糸魚川市としては、前々からぜひ、大系線に走ってもらいたいという要望はしておりますが、今のところ、来年の4月23日に運行開始するんですけども、当面は、トキメキ鉄道の線路だけ走ると、そういうことでやっていくと。したがって、トキメキ鉄道以外のものにつきましては、将来的には拡大をするんですけども、今現在は、トキメキ鉄道の中でということになります。

当然ながら、糸魚川市としては大系線とか、そういったことを、ぜひ利用してもらいたいということで、要望はしてるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

運行形態のほうは、そういう要望をされてるということですけども、今回あわせて、かなり料理のほうにも力を入れておられると、この辺も期待したいなと思います。

料理の食材、あるいは越乃 Shu * Kura のような、非常にバリエーションに富んだお酒等、糸魚川にもそういった食材があるわけですけども、そういったことの要望というのはされているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

今、料理のほうは、越後上越フルコースというようなもので、有名な料理人を使ってやっておりますけども、その中で、糸魚川のほうからの食材もということで、糸魚川のお店屋さんからもということで、今、検討してるというものであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

もう1点、これも検討中ということで、運賃がそれでも公表されておりますけれども、運賃に対することについて、市のほうではどのように考えておられますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

運賃と料理のほうと、セット料金であります。

したがいまして、今、一番高いのは1万4,000円とか6,000円とか、それぞれのコースによって雪・月・花コースということで、3種のコースによって料金が違うということであります。乗車料金と料理が、セットであるということでもあります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それは、新聞に報道されたのでわかるんですけども、この料金・価格というものを、例えば越乃Shu*Kuraを例にとってみても、かなり高額である印象が、どうしても免れないんじゃないかなと。その辺を、ターゲット等を勘案しながら、一体これは、適当に思っておられるかどうかということなんですけども。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

今ほど、副市長のほうで申し上げました案で、トキめき鉄道のほうで検討しておるということでございますが、ほかのリゾート列車の料金等を参考にしながら決めたというふうにお聞きいたしております。まだまだ、いろんなバリエーションも考えられますことから、今後、運行する中で、トキめき鉄道の中でさらにまた、検討を深めていきたいというふう聞いております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

その次のほうに入ります。

トンネル内の避難訓練、これを初めてされたと。非常にいいことをしていただいたというふうに、私は思っているんですけども、やってみての反省点等、ありましたらお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

今回、訓練を実施したわけですが、トキめき鉄道、糸魚川市消防本部それから警察等、関係者60人ぐらいでの訓練ということになります。当本部も消防車両、救急車等、4台ほど出動をして、訓練をいたしました。

実施日時は、先ほど市長答弁のとおりなんですが、頸城トンネル内での列車火災を想定して、トンネルの斜坑付近に停車した車両から、負傷者とか乗客を、安全にトンネル外へ救出、避難誘導するという訓練でございました。

ということで、課題・反省点ということでございます。何点かあるんですけども、まずは、人命最優先でありますので、安全・迅速・的確にこの危険な場所から救出する、避難させると、そういうことが課題かなというふうに思います。

それから2点目としまして、関係機関が知り得た情報を、共有することが重要であるというところであります。

それから3点目といたしまして、今回は、徳合の斜坑で実施をしたわけですが、このトンネルの斜坑に防災扉を設置したということで、これはJR時代にはなかったものであります。その確認ができたということで、より安全度が上がったのかなという捉え方でございます。

それから、消火活動ということで申しますと、原則的には、列車はトンネル外で停車をするという原則でございますけれども、今までもありました、トンネル内の消火器等も設置してあるということで、トンネル内には70本の消火器が設置してあるというようなことも、再度、確認をすることができたという状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今、消防長言われたように、トンネル外に出るのが、今まで基本だったわけです。JRのときには、とにかく一刻も早く、トンネルの外に出るのが原則だった。

今回は、トンネルの外に出るんじゃなくて、そこにとまって避難させると。この変更になった理由というのは何でしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

トンネル外へ出るという原則は、変わっておりません。今回、斜坑の付近でとまったということは、最悪の事態を想定してということでの、そういう場合もあるという想定での訓練でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

私が調べた中に、原則はそれで原則かもしれませんが、JR時代は3両以上だったと。今は1両、あるいは2両の車両なので、他の車両に移ったりすることができない。なので、そこにとまって、斜坑に避難するという話も聞いたりもするんですが、それはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

車両の数が少ないということで、今、議員言われるような部分もあろうかと思えますけれども、原則は変わっていないというふうに認識をしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今回、斜坑を利用したということですが、一番多いのは1両編成、ワンマン運転であります。その際の、乗客の避難誘導、最寄りの駅、それから本社、消防へのそういった通報の仕方と救助の依頼。そういったことでワンマンの場合、いろいろと課題が出たんじゃないかと思うんですが、その辺の話はないんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

列車には、1名ないし2名の乗務員がおるところから、トキメキ鉄道のほうへ連絡をする。そこから消防本部なり、関係機関に連絡をするという体制でございます。このことは、JR時代と全く変わっているものではなく、そういうような連絡体制で、通報が入るといふふうに認識をしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

トンネル内でのこういう事故等、あるいは車両火災等の場合の、連絡を受けての救助ルート、避難ルートというのは、もう決まっているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

今、斜坑のことで申せば、当消防本部もそれぞれの斜坑の場所、それからどういう形状になっているかということも確認しております。また、トンネル外ということであれば、なかなか線路内に入るということも、難しい場合もあるかと思えます。そういう意味でいうと、トンネル外であれば、煙ということを考えれば、トンネルの中に比べて安全かなという部分もありますけれども、いずれにいたしましても、トキめき鉄道と、それぞれの現場での確認を、事前に要するということがあります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

こういう話をやりとりしていると、改めて、先ほどの3つの課題もありましたけれども、情報の共有等において、これだけの長いトンネルがあると、やはり携帯等の使用というものも、これから検討すべきじゃないかなと。そのための設備というものも、検討すべきじゃないかなということを痛切に、今、感じているんですけどもいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

通報手段、連絡手段というものは、複数以上あることが望ましいことですので、そのような対応ができれば、なお、よろしいかなというふうに感じております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今回、訓練があったわけなんですけれども、開業して何カ月かたって、これまでにトラブルというものはあったものでしょうか、いかがだったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

今ほど、議員言われているような、例えば列車の火災事故とか、そういうもののトラブルというものは、発生してございません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

日本海ひすいラインのほうでは、そういったトラブルは、なかったというふうに聞いております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

バスの利用促進について伺います。

まず、路線バスへの市の負担、年間、幾らぐらい今、されているか。

それから乗車数の実態、およそ1台に何人ぐらい乗っておられるか、乗車率というんでしょうかね、把握されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

市の負担ですけれども、生活交通確保対策運行費補助金ということで、年間1億2,500万ばかり支出いたしております。

また、ほかにコミュニティバス等の運行費補助金ということで、1,038万7,000円ということで、昨年度は支出しておりました。

あと、平均の乗車密度ということになりますけれども、1系統当たり大体、2人から3人の間ということになっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

1回目の市長答弁で、一部、客貨混載をされているというんですけど、私が言いたいのは、今回ののは、ちょっと違うんでありまして、今回、提案している「貨客混載バス」、これは、高齢化が進む中山間地でバス路線を維持する狙いで、乗客の少ない日中に、乗客と一緒に有償で、荷物を運搬

するというものであります。

11月18日に、信濃毎日新聞の1面トップにあったものなんですけれども、飯綱町が、長野県内で初めて貨客混載バス導入を検討していると、1面に大きく掲載されている、このとおりであります。

詳しい内容は、時間があれですので記事に譲りませけれども、廃止する方針を示している生活路線を維持する狙いとして、町では公共交通の維持や生活の利便性を高めることを目的、ヤマト運輸と提携する協議をしてるんですけれども、効率のよい運行や、二酸化炭素削減などが期待できるとしております。飯綱町と宅配便大手のヤマト運輸、それから長電バスが協議していると、内容が載っています。

地域の足の維持というのは、長野県内に共通する課題ということで、長野県交通政策課は「地域の実情に合わせた交通手段を守る選択肢の1つになり得る」と書いてあります。

ヤマト運輸がかかわる貨客混載は、全国においては2カ所、ことし6月に岩手県北バス、10月に宮崎交通で始まってあって、ともに高齢化の進む中山間地でバス路線を維持する狙いで、バス会社には荷物の運送料が入り、ヤマト運輸は荷物が少ない時間帯に車を使わず、経費を節減できるという利点があると。

そういうことで、紹介された飯綱町では、人口減少対策の地方版総合戦略にも盛り込んで、今、協議を進めているというふうに載っております。

これも地方創生の戦略に、十分なり得ることじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

基本的に、バス事業者については、バス停からバス停まで荷物を運ぶと。その後、宅配業者が集荷なり、配達を行うというような事業だというふうに認識はしております。

糸魚川でやってるのは、バス停からバス停まで、糸魚川バスが荷物を運んでおるという事例があるということで、一部実施というふうに表現させていただきました。これについてはやはり、確かに赤字路線解消ということでも、荷物を運んだりするのも大事だというように思っております。やはり問題は、宅配業者とそれからバス事業者が、お互いメリットが出るような形で考えていって、実施できればいいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ぜひ、実施の方向で検討していただけたらと思います。

じゃあ次に、2番目の農業政策について伺います。

農業政策でありますけれども、まずTPP、大筋合意によって、先ほどの答弁にありましたように、非常に大きな影響を受けるというのをいただきましたけれども、市長は、まず、このTPPの大筋合意について、いろいろと賛否、あちこちにありますが、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

政府におきましては、ＴＰＰの大筋合意は、主要品目を中心に長期の関税撤廃期間や、セーフガードの措置が設けられたことは、評価できるというふうに考えておりますけども、まだまだ、今後不安を残す内容でないかなというふうに受けとめております。

なお、１１月２５日には、ＴＰＰの総合対策本部が、関連の政策大綱を発表しておりますので、この具体を、注視してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

７番（田中立一君）

先日、新潟県の影響を試算した結果が公表されて、最悪９２億円、６％の減という、大変厳しい数字があらわれましたけども、これを糸魚川に当てはめた場合の試算をされておられたら、お願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

今、議員言われますように、県全体で最悪を想定した場合に、９２億円の減で約６％という報道がなされておまして、このシナリオを当市に当てはめた場合に、約９，０００万円前後ではないかなというふうに試算をしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

７番（田中立一君）

同じく、またこのシナリオを当てはめての攻めの農業競争力の強化等を、国が本当にやった場合のプラスの試算の中で、米の輸出について書いてありますけれども、糸魚川市内での米の輸出についての、今の状況をお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

実績では２件、年間１トンが、輸出されておる実情であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番(田中立一君)

今後の取り組み、展望等はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長(斉藤 孝君)

先ほど申しあげましたように、政府が出しましたTPPの総合対策要綱が、具体化されてくるのを注視しながら、また、農家の皆さんと話し合いをしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

田中議員。

7番(田中立一君)

次に、政府・与党が示した、耕作放棄地の固定資産税の1.8倍への強化ですけれども、非常にこのことについて、中山間地の当地域、いろんなところで話を聞いておって、不満や不安というものは広がっています。

これについて、4日の新潟日報では、泉田知事が、この耕作放棄地の固定資産税引き上げについて、負担を招くだけだと批判されている記事が掲載されてました。

中山間地などでは、将来の値上がりを期待して、農地を持っているわけではない。どうしても耕作できないという状況があり、課税強化で集積が進むとは考えていないと紹介されていますけど、私もそのとおりだと思いますけども、このことについて、市長はどのように考えますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長(米田 徹君)

お答えいたします。

やはり今、一番、放棄地がどうあるべきかというときに、それが集積できないというのも、大きな課題であるわけでありまして、それを、今、解決する1つの方法として、出されたものと捉えてるわけでありまして、必ずしもだめということではなくて、また逆に、負担増になることもやはり、大きな懸念することでもあるわけでありまして。

しかし、どこかで何かを突破しなければいけないという状況は、今、生まれてる状況でありますので、それを解決する方法、ほかにいい解決する方法があれば、そっちのほうがいいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

田中議員。

7番(田中立一君)

次に、ことしの糸魚川市の農業の現状についてでありますけれども、自然災害による一等米比率が、台風による影響を受けてということで、その部分は低かったと。影響を受けてないところは高

かったと。

台風の被害で、同じく、一等米比率の低かった地域では、生産調整配分の懸念から、一律配分への見直しを求めて、県のほうへ出しておりますけれども、糸魚川市では取り組みはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

台風の影響は、昨年を引き続いて2カ年、特に、今井地区周辺は非常に、2カ年続いて被害が出ているわけであります。

従来、生産調整の配分の基準といいますのは、過去の販売実績を考慮して、改定されてきたわけでありまして、今年度から、一律配分になったわけでありまして。この一律の増減率を採用したことによって、ブランド米の産地からは、不満が出ているところであります。

これまでも糸魚川市は、生産調整を100%達成してきておりますので、未達成地域との格差を求めてきておりましたけれども、配慮がされなかったことについては、残念に感じております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それからもう1点、非常に「新之助」、新しい品種、競争力を強化するための切り札のように出て、非常に話題になっておりますけれども、これは来年試験で、次年度以降に本格的になっていくわけですが、糸魚川の現在の取り組み状況はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

新しい品種の「新之助」につきましては、先般、JAが行われました、糸魚川米ブランド大会におきましても、皆さんに試食をいただいたところでありますし、私も試食をさせていただきました。大粒であり、甘さもあり、粘りもありというふうな、評判どおりのお米だなというふうに感じております。

それで、県では、このブランドの維持に配慮しながら、作付の面積を拡大するというふうにお聞きしておりますけれども、来年度におきましては、当管内では2から3ヘクタールぐらいの作付が、割り当てられるんじゃないかなというふうに、想定しております。

ブランド維持の観点から、栽培管理の指定が厳しいものと考えております。JAひすいを中心としながら、また振興局と連携をしながら、作付の検討を行いながら、当市における栽培管理の適正化を、試行していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番(田中立一君)

もう1点、最近示されたので、JA米全てに、食味を基準にする区分集荷の方針が、今回、出されましたけれども、管内での現在の区分集荷の取り組み状況と、この対応はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長(斉藤 孝君)

JAひすいでは、集荷時に食味分析を既に行って、区分集荷を行っているというふうにお聞きしておりますので、今後また、その情報収集をしてみたいというふうを考えてます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

田中議員。

7番(田中立一君)

TPP初め、非常に農業を取り巻く環境、変化が目まぐるしく、また厳しさを増しているように見受けられます。

そういうことで、農業支援センターのほうも、また大変でしょうけれども、今後、引き続き農業政策のほうをよろしくお願いして、私の一般質問を終わります。

ありがとうございました。

議長(倉又 稔君)

以上で、田中議員の質問が終わりました。

次に、五十嵐健一郎議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

五十嵐議員。〔17番 五十嵐健一郎君登壇〕

17番(五十嵐健一郎君)

清政クラブの五十嵐健一郎です。

通告書に基づき一般質問をさせていただきます。

1、教育環境と福祉の充実について。

新潟県教育委員会は、7月の、糸魚川白嶺高校1学級減に続き、12月1日に発表した、2018年から27年度の県立高校の再編計画「将来構想(仮称)」の素案では、少子化に合わせて、全県で14校以上、減らす方針を示した。

1学年3学級以下の学校で統廃合を検討するとして、22校が対象となり、上越エリアでは6校、しかも糸魚川市内では、糸魚川白嶺、さらに海洋高校が検討対象となりました。また、この説明会を13日、日曜日、14時から糸魚川市民会館で開くとともに、12月28日、月曜日までに意見を募集すると、矢継ぎ早に突然、唐突に発表され、糸魚川市民は、あまりピンときてない人が多く、糸魚川が、消滅することをしっかりと情報発信し、特色ある高校の魅力化を図る必要があることを、市民全体の皆さんに強く広く、わかってもらうよう努力いただくよう、以下項目により、具体的に